

障害があるってどんなこと？

今回から数回にわたって、身体に障害のある方を雇用する上で設備改善や介助等に係る費用を助成する制度を紹介していきたいと思ひます。

障害者作業施設設置等助成金



障害のある方を新規に雇い入れたり、継続して雇用する事業主に対して、障害のある方が作業をしやすくするための施設・設備を設置したり整備する場合、また働きやすいよう配慮された環境にするための設備や整備をする場合にかかる費用を一部助成するというものです。

ex. トイレの改修や手すり、スロープの設置等

障害者介助等助成金



就職が特に困難と思われる障害のある方を雇い入れるか継続して雇用している事業主が、障害の種類や程度に応じた適切な雇用管理のために必要な介助等の措置(障害のある方のそばに付き添って動作などを手助けする補助者を配置した場合等)を実施する場合に、その費用の一部を助成します。

ex. 手話通訳者や、移動等に関わる介助者等。

対象者によって受給要件等が異なる場合があります。詳しくは、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構にお問い合わせ下さい。

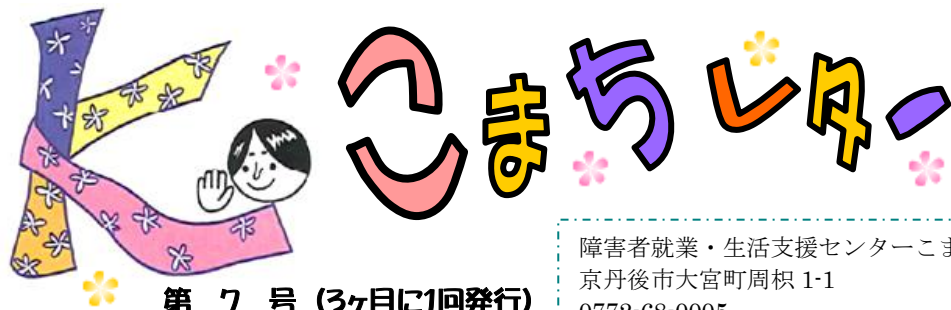
編集 後記

朝夕めっきり涼しくなりましたが

みなさまはお変わりなくお過ごしでしょうか？

数年前、一〇月まで厳しい残暑が続いたことを思えば、季節が巡っていることを実感します。虫の音や、食欲や季節を感じられるあたりまえの生活を送りたい。

そこで最近仕事中心のライフスタイルから少しずつ変化しようとしています。20代の頃のようにスポーツを始めたり、映画を見に行ったりと、ほんの少しづつですが、季節を感じられる、あたりの生活の幅を広げたいと思ひます。



第7号(3ヶ月に1回発行) 発行日 2012年10月1日

障害者就業・生活支援センターこまち 京丹後市大宮町周枳 1-1 0772-68-0005 発行責任者：センター長 石塚寿幸



Dream Supporters

公益財団法人 丹後中央病院

総務部 部長 廣野 真奈美さん

当院はここ数年職員が急増し、障害者の雇用率に達成できない期間が続いていました。しかし、病院は、医者をはじめ、看護師、薬剤師、レントゲン技師、検査技師等々、有資格者の多い職場です。また、命の現場でもあり、その中での障害者雇用はなかなか難しいものがあります。そこで、地元のハローワーク、こまちの職員の方々のご指導を受け、介助者をつけた障害者雇用が実現しました。当院の職員の介助はもちろんですが、長期にわたるジョブコーチの支援をうけ、今日ではひとり立ちに近い業務が行えるようになっています。

障害者雇用については、職員の協力と理解がなければできません。当院の自慢は、障害者と関わる職員が、様々な問題が日々起こる中で、家族のように叱ったり、褒めたりしてくれること、管理者側が行き届かない心身面のフォローをしっかりとしてくれているところです。そんな職員に本当に感謝しています。しかしながら、今まで当院では身体障害者以外の障害者雇用がなく、私を含め、担当職員も手探り状態です。想像できなかった問題に直面し、右往左往していますが、一つ一つ乗り越え、それぞれが成長できることを願っています。

来年度は、病院の増床が予定されており、職員数も増えます。また障害者の法定雇用率の引き上げにより、障害者の雇用人数が不足となります。今後も様々な方面の方の支援をいただきながら、医療のみならず、障害者雇用にも貢献していきたいと思ひます。

Passion

～障害があり、働く人々の
仕事への思い～

『与謝野町役場本庁舎 総務課』

八木 剛 さん

高橋 広貴 さん



6年になりました

働き始めてどのくらいになりますか？

11ヶ月に入りました。

仕事の内容を教えてください。

庁舎内、外、トイレの清掃。植木の剪定
や、お皿洗い、タオルの洗濯などを
しています。

清掃作業と、事務作業を行っています。
最近はお上の業務の手伝いや、
役場の花壇の手入れをしています。

仕事でがんばっていること、難しいことはなんですか？

トイレ掃除をがんばっています。住民の方
に気持ちよく利用してもらえよう
にしたいです。

上司の指示通り、無駄なく行動する
ことを心がけています。お客様、
上司に対する言葉づかいに
難しさを感じます。

仕事を始めてかわったことはありますか？

前より少し素直になったことです。少しは
話を聞くことができました。

人に対する気持ちや考え方が
変わり素直になりました。

これからの目標を教えてください。

住民の方に、庁舎が明るく、きれいだ
と褒められるようにがんばります。

人に必要とされる人材になりたいです。



総務課 係長
小室 光秀 さん

与謝野町役場本庁舎では、お二人の方に毎日一生懸命汗を流
し庁舎管理をはじめ、様々な業務に頑張ってもらっています。
彼らとのかかわりの中で、日々の気配りや目の行き届かない部
分などや行政が知らなかったことの改善が見られ、これこそが
障害者雇用の価値となっていると感じています。これからも、
あせらずに、笑顔で頑張ってもらいたいものです。

福祉の取り組み お知らせ版

京丹後市編



《コクヨKハート株式会社・社長 「仕事力アップ講座」にて講演》
9月4日、京丹後市『くらし』と『しごと』の寄り添い支援センター、
障害者就業・生活支援センターこまちが主催する「仕事力アップ講座」が、
丹後勤労福祉会館（京丹後市大宮町）にて開催され、日頃より障害者雇用に
力を入れておられるコクヨ(株)特例子会社コクヨKハート株式会社社長、黒田英
彦氏よりコクヨグループとしての障害者雇用の取り組みについて分かりやす
い言葉でお話を頂きました。講演には仕事力アップ講座受講生の他、就労
支援機関の関係者を含め約30名の方が参加され、熱心に講演を聞かれていま
した。



受講生からの感想

「企業の方がその人にあった仕事を見つけてくれるのがとても良いなと思いました。」

「京丹後にもこんな場所、働ける場所が出来たら良いなと思います。」

※仕事力アップ講座のご案内

障害者就業・生活支援センターこまちでは、昨年に引き続き、京丹後市『くらし』と『しごと』の寄り添い支援センターより委託を受け、「障害があっても働きたい」と願っておられる方々を対象とした講座、就労に結びつための職場マナーや知識の習得、職場見学や実習の機会を提供する事により、各人が持っている能力アップや就労意欲の向上を目的に実施しています。